

高等部 「校内実習週間」の取り組み(Part-1)

高等部では9月26日～30日までの5日間「校内実習週間」として、作業実習に取り組みました。

目的は『①作業を中心とした学習を1週間にわたり行うことにより、「働く力」や「勤労への意欲」を高めること、②卒業後の進路先をイメージして作業に取り組むこと』です。農作業、自立活動、委託作業、窯業・美術、布加工・縫製など、全学年を縦割りにしたグループに分かれて取り組みました。

【農作業 (GM) グループ】



さつまいものツルの返し作業、畝づくり、樹木の切り株撤去、ジャガイモの種芋の植え付けに取り組みました。

【自立活動グループ】



「はたらくくるま」の曲に合わせて車のカード選びで頭をほぐした後、スウェーデン刺繍に取り組みました。

【委託作業グループ】



窓に貼る断熱材「マドピタシート」の梱包作業です。3階自立活動室と体育館棟1階の軽作業実習室に分かれての作業です。

作業主任役生徒の厳しい検品チェックが入ります。元気リーダー役の生徒はみんなに声をかけて明るく作業を進行します。生徒たちが梱包した製品が全国のホームセンターに並ぶのが楽しみです。

* 他のグループの様子は、引き続いて「第6号」でお知らせします。

